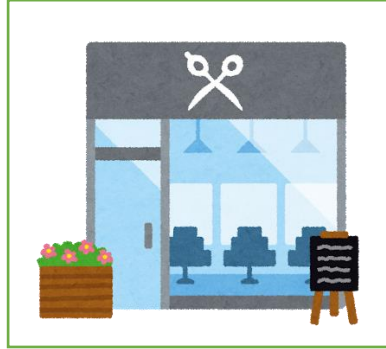


渋川市こども発達相談室ニュース 2024年2月号

～2月って短いのに祝日が2日間もあるなんて嬉しいですね。しかも3連休が2回!!～

イレギュラーな場所でどうしてる？



「赤ちゃんの時は良く寝るし大人しくて育てやすかったのに、、、」

お出かけ出来るようになって、色々な場所へ連れて行ってたくさんの体験をさせてあげたいと思っていたけど、いざ連れ出したらギャン泣き、、、なんて経験はありませんか。

場所見知り、人見知りがいつまで経っても変わらないと、親としては心が折れそうになりますよね。

そんな時、何か良いアイデアがあったらいいなと思い、まとめてみました。

●写真やイラストをカードにして見せる⇒イメージをふくらませる

保護者の声掛けで「〇〇へ行くよ♪」と言っても、お子さんはそこがどこなのか、どんなことをするのかはまだイメージしづらいことが考えられます。その場所がイメージ出来るような写真やイラストをカードにして見せてあげることで、「あ、知ってるところだ」とか「どうやら悪いところではなさそうだ」とマイナスイメージにはならず、気持ちをスムーズに切り替えられるかもしれません。

●その場所のスタッフさんと密に連携する

何とか連れ出して一安心、でも警戒心バリバリで緊張して今にも逃げ出しそう。特に散髪や歯医者等の体に触れられるようなところは苦手なお子さんが多いです。最近では、敏感なお子さんでも大丈夫!と謳っているところもありますが、なかなか見つからないですね。保護者の方が緊張したり過度に心配していると、そのことがお子さんに伝わってお子さんも同じように緊張して不安になってしまいます。そんな時のために、その場所のスタッフさんと事前に相談してみてもいいかもしれません。予めどうするか相談しておけば、それほど緊張せずに過ごせるかもしれません。

●安心グッズ等を持参する

音に敏感なお子さんがイヤーマフを装着することがありますが、どうすれば落ち着くかは人それぞれ。もふもふしたタオルやぬいぐるみを抱いていれば落ち着く子もいますし、常にお母さんが側にいれば大丈夫、という子もいます。お子さんがどうすれば安心出来るかを常日頃からよく観察し、お子さんともよく話し合っておくと効果的です。あと、空腹時は心配や不安が強くなることがあるので、何かしなくてはならない時は空腹時を避けて、時間的なタイミングを選んでもらえると、結構落ち着いて過ごすことが出来るかもしれません。